

< 藤沢型地域包括ケアシステムの推進について >

1 3 地区ごとの主な取組

藤沢市内の各地区では、これまでに地域の特徴や歴史的背景を踏まえ、多様な主体による様々な地域活動が行われてきました。

また、近年の少子高齢化をはじめとする社会情勢の変化の中でも、新たに生じている地域生活課題に対応した「まちづくり」「地域づくり」が各地区で進められており、様々な地域団体等が連携・協力し合い、お互いを尊重した「支えあいの地域づくり」に向けた活動が展開されています。

なお、本資料は、これまでの成り立ちを踏まえ、各地区における郷土づくり推進会議などを中心に、多様な主体が連携する形で進めてきた主な取組を紹介しています。

- 「(1) 地区の状況」については、各地区における基本データ及び地勢、文化を紹介しています。
- 「(2) 郷土づくり推進会議等により実施された主な取組(まちづくり事業)」については、郷土づくり推進会議等における検討を経て、各地区で取り組んでいるまちづくり事業を記載しています。
- 「(3) 地域からの主な声」については、これまでに地域の協議体をはじめとした会議等でいただいた声を整理しています。
- 「(4) 地域からの主な声に対応した取組」については、これまでに実施した主な取組を記載しています。(一部、地域からの声をもとに、全市を範囲として実施した取組も含めて記載しています)
- 「(5) 在宅生活を支える主な資源」について、特に注釈のない場合は、2020年(令和2年)2月時点の状況になります。

1 片瀬地区

(1) 片瀬地区の状況

南東部の海岸線に位置し、面積は3.06km²で全市の4.4%を占めています。湘南の海と山に恵まれ、山林を宅地造成した片瀬山や片瀬目白山などがあり、特徴のある地形となっています。主な鉄道交通機関には、江ノ島電鉄、小田急電鉄、湘南モノレールの3路線・5駅があり全国有数の観光地として多くの方が訪れています。

<基本データ>

人口	1	20,392人	(11位)
0～14歳(年少人口)	2	2,285人	(11位)
65歳以上	3	5,772人	(11位)
高齢化率		28.3%	(3位)
一人暮らし高齢者	4	443人	(13位)
自治会加入率	5	93.5%	(1位)

1 2 3 住民基本台帳 2019年(令和元年)10月1日現在

4 「藤沢市ひとり暮らし高齢者台帳」による(70歳以上)

5 2018年(平成30年)9月1日現在

(2) 郷土づくり推進会議等により実施された主な取組(まちづくり事業)

片瀬地区人材・情報バンクセンター事業
ボランティアセンター事業
まちかど相談事業
民俗文化財等継承事業
江の島道の整備事業
緑と花いっぱい推進活動事業
公民館活用事業

(3) 地域からの主な声

- ・ 高齢者等が集える場が一部の地域に集中しており、空白地となっている地域がある。
- ・ 独居高齢者の方が外出するきっかけを作りたい。
- ・ 地域住民同士のつながりが希薄化しており、「互助力」が低下している。
- ・ 地域内でも特に高齢化が顕著な地区では移動支援や買い物支援のほか、空き家など住環境の課題がある。
- ・ 高齢化率が高く、将来に向けて地域における生活支援の体制づくりが必要である。

(4) 地域からの主な声に対応した取組

- ・ 地区内の既存の“居場所”を知ってもらい、外出してもらうことを目的に、周知専用のリーフレットを作成。
- ・ 集える場がない地域を対象に、様々な団体が連携した居場所づくりを企画。
- ・ ウォーキングをはじめ、外出のきっかけとなる取組を洗い出し、周知方法等(口コミ、マップ作成)を検討。
- ・ 地区社協と地区内の生活支援ボランティア団体との協働による生活支援体制づくりを推進。
- ・ ボランティアセンター事業として、地域の縁側、子育て支援、高齢者・子育て等の相談事業を実施したほか、2019年(令和元年)7月からCSW相談を開始。

(5) 在宅生活を支える主な資源

相談支援窓口		地域包括支援センター	1 箇所
		コミュニティ・ソーシャルワーカー（CSW）配置	有
各サービス提供	医療	在宅療養支援病院・診療所 1	8 箇所
		在宅訪問対応可能な歯科診療所 2	3 箇所
		在宅医療支援薬局 3	4 箇所
		訪問看護ステーション 4	1 箇所
	介護	居宅介護支援事業所（ケアマネジャー）	3 箇所
		（訪問型）訪問介護	5 箇所
		（通所型）通所介護	2 箇所
		（地域密着型）小規模多機能型居宅介護	0 箇所
	障がい福祉	（訪問系）居宅介護	1 箇所
		（日中活動系）生活介護	0 箇所
		（就労支援）就労移行支援	0 箇所
		（児童通所系）児童通所支援	0 箇所
		（児童通所系）放課後等デイサービス	0 箇所
	居場所・交流拠点等	地域の縁側	2 箇所
高齢者の通いの場（住民主体型・委託型）		2 箇所	
地区ボランティアセンター		1 箇所	
地域子ども家・児童館		1 箇所	
つどいの広場・藤沢版つどいの広場		1 箇所	

- 1 関東信越厚生局 神奈川事務所
- 2 藤沢市歯科医師会（2019年（令和元年）11月時点）
- 3 神奈川県薬剤師会（2019年（令和元年）9月時点）
- 4 藤沢訪問看護ステーション連絡協議会（2019年（平成31年）4月時点）

2 鶴沼地区

(1) 鶴沼地区の状況

南部中央に位置し、面積は5.61km²で全市の8.1%を占めています。東は境川、西は引地川、南は相模湾に囲まれた南北に長い地形となっています。現在は、市内最大の住宅地であり、富士山を望む鶴沼海岸には、サーフィンやビーチバレーなどの発祥の地として、多くの方が訪れています。

<基本データ>

人口	58,188人	(1位)
0～14歳(年少人口)	7,377人	(1位)
65歳以上	13,994人	(1位)
高齢化率	24.1%	(6位)
一人暮らし高齢者	2,145人	(1位)
自治会加入率	82.0%	(3位)

(2) 郷土づくり推進会議等により実施された主な取組(まちづくり事業)

鶴沼元気塾・鶴沼元気ひろば事業

- ・小学3～6年生児童の放課後の居場所として、ボランティアが地域の児童40人を対象に事業を実施。学習支援のほか、スタッフの工夫による化学の実験や手話講座、高校生からダブルタッチを習うなど、工夫を凝らした学習や体験、イベント等の実施により、児童の豊かな人間性を育む学びの時間を提供。

鶴まつり事業

- ・地域の活性化や地産地消につなげる地域おこしイベントとして、地域団体や地元サークル、物販・飲食店等が参加する住民主体のまつり開催を支援。

認知症対策事業

- ・「認知症ご本人やご家族が住み慣れたまちで引き続き安心して暮らしていける地域づくり」を目標に掲げ、認知症を学ぶための講演会や、同じ悩みを持つ家族同士などが集い、つながりやふれあいを通じた情報交換ができる事業を展開。

公園見直し事業

- ・住民が利用しやすく気軽に立ち寄れる居場所となるように、出入口の段差解消のほか、遊具や水飲み場の改修を実施。

(3) 地域からの主な声

- ・独居高齢者等が増加している中で、地区内における見守りが足りていない。
- ・地域住民同士のつながりが希薄化しており、「互助力」が低下している。
- ・子どもの居場所づくりの拡大と幼児・児童の虐待防止に取り組んでほしい。
- ・一人暮らしのお年寄りのための事業を考えてほしい。

(4) 地域からの主な声に対応した取組

- ・見守り体制の重層化と更なる推進に向け、商工会議所、商店会連合会、理美容組合と協定を締結。
- ・地区内の見守り体制の充実に向け、見守り活動を実施している団体や企業等の参加による交流会「つながろう 鶴沼!」を開催。
- ・見守りにつなげるためのチラシを作成し、回覧及び掲示板による周知・啓発を実施。

(5) 在宅生活を支える主な資源

相談支援窓口		地域包括支援センター	2 箇所
		コミュニティ・ソーシャルワーカー（CSW）配置	有
		（その他）藤沢市保健所・南保健センター	
各サービス提供	医療	在宅療養支援病院・診療所	8 箇所
		在宅訪問対応可能な歯科診療所	11 箇所
		在宅医療支援薬局	6 箇所
		訪問看護ステーション	2 箇所
	介護	居宅介護支援事業所（ケアマネジャー）	12 箇所
		（訪問型）訪問介護	20 箇所
		（通所型）通所介護	7 箇所
		（地域密着型）小規模多機能型居宅介護	3 箇所
	障がい福祉	（訪問系）居宅介護	6 箇所
		（日中活動系）生活介護	2 箇所
		（就労支援）就労移行支援	7 箇所
		（児童通所系）児童通所支援	6 箇所
		（児童通所系）放課後等デイサービス	7 箇所
	居場所・交流拠点等	地域の縁側	1 箇所
		高齢者の通いの場（住民主体型・委託型）	3 箇所
地区ボランティアセンター		1 箇所	
地域子どもの家・児童館		3 箇所	
つどいの広場・藤沢版つどいの広場		1 箇所	

3 辻堂地区

(1) 辻堂地区の状況

南西部に位置し、面積は4.38km²で全市の6.3%を占めています。地区の大部分は閑静な住宅地で、辻堂太平台や辻堂東海岸などは風致地区に指定され、緑豊かな住環境が保たれています。また、新たな分譲地には若い世帯が多くなる一方で、辻堂団地や昭和50年代に開発された地域では、急速に高齢化が進んでいます。

<基本データ>

人口	44,373人	(3位)
0~14歳(年少人口)	6,923人	(2位)
65歳以上	9,873人	(5位)
高齢化率	22.3%	(9位)
一人暮らし高齢者	1,362人	(4位)
自治会加入率	75.4%	(6位)

(2) 郷土づくり推進会議等により実施された主な取組(まちづくり事業)

辻堂交流事業

- ・ みんなで美化キャンペーン
- ・ 辻堂朝市
- ・ 商店街活性化につなげる「まちゼミ」への参加
- ・ 公園の有効活用
- ・ 自歩道の愛称募集(投票により湘南ニコニコロードとなった)
- ・ 市民の家の活用

くらし安心・安全事業

- ・ 防災啓発事業(防災講演会,津波避難体験)
- ・ 認知症サポーター養成講座の開催及び自治会・町内会への啓発
- ・ 生活マナーアップ活動
- ・ 子どもの見守りに関する情報交換会
- ・ 辻堂小学校4年生と実施した「安全マップ」の作成
- ・ 辻堂わんわんパトロール
- ・ 交通問題箇所についての市への意見書提出

広報活動

- ・ 辻堂プライド
- ・ 子ども回覧板
- ・ 飛び出せ!辻堂インタビュー
- ・ 駅前掲示板の有効活用
- ・ 全体集会・公民館祭りでのアンケート実施

(3) 地域からの主な声

- ・ 道路の交通渋滞問題への対応,公園の設置,子どもの見守りが必要。(辻堂まちづくり会議でのアンケート結果から)
- ・ 新旧住民の交流。自治会・町内会を超えた交流を深めていくことが必要。
- ・ 健康に関する取組が活発で,さらに健康状態がデータ上,他地区に比べて良いので,その強みを活かした取組を進めるべき。
- ・ 抱える課題が多様化・複雑化していて,どういう関わり方をすればいいのか。
- ・ 共働き世帯の増加に伴い,地域の事業や行事に参加できない世帯が多い。

(4) 地域からの主な声に対応した取組

- ・ 交通渋滞問題に関する実態把握として、関係部署と地域の方々に交通量調査を実施し、課題と対策案をまとめ、市長に対して意見書を提出。
- ・ 地区内の健康に関する取組等を周知するリーフレットの作成。
- ・ CSWによる、地域での支援者への複雑な相談ごとへの対応。
- ・ 地域における交流の活性化に向け、「辻堂プライド」という概念をもとに、辻堂に愛着を持ち、住民一人ひとりが地域活動に参加する機運を高められる取組を検討。
- ・ 「飛び出せ！辻堂インタビュー」を自治会長・町内会長を対象に実施。その情報をホームページに掲載し、自治会・町内会の活動の周知を図った。

(5) 在宅生活を支える主な資源

相談支援窓口	地域包括支援センター	2 箇所	
	コミュニティ・ソーシャルワーカー（CSW）配置	有	
各サービス提供	医療	在宅療養支援病院・診療所	7 箇所
		在宅訪問対応可能な歯科診療所	5 箇所
		在宅医療支援薬局	7 箇所
		訪問看護ステーション	5 箇所
	介護	居宅介護支援事業所（ケアマネジャー）	12 箇所
		（訪問型）訪問介護	11 箇所
		（通所型）通所介護	5 箇所
		（地域密着型）小規模多機能型居宅介護	2 箇所
	障がい福祉	（訪問系）居宅介護	6 箇所
		（日中活動系）生活介護	3 箇所
		（就労支援）就労移行支援	0 箇所
		（児童通所系）児童通所支援	2 箇所
		（児童通所系）放課後等デイサービス	2 箇所
	居場所・交流拠点等	地域の縁側	2 箇所
高齢者の通いの場（住民主体型・委託型）		2 箇所	
地区ボランティアセンター		1 箇所	
地域子どもの家・児童館		3 箇所	
つどいの広場・藤沢版つどいの広場		0 箇所	

4 村岡地区

(1) 村岡地区の状況

南東部に位置し、面積は4.06km²で全市の5.8%を占めています。古くから歴史的資源や自然資源に恵まれ、南部の川名にある新林公園や川名緑地などは、四季を通じて様々な動植物を楽しむことができます。また、村岡北部では、柄沢特定土地区画整理事業を経て、特に人口増が見込まれている地域となっています。

<基本データ>

人口	31,222人	(9位)
0～14歳(年少人口)	4,997人	(5位)
65歳以上	6,522人	(9位)
高齢化率	20.9%	(12位)
一人暮らし高齢者	756人	(9位)
自治会加入率	83.1%	(2位)

(2) 郷土づくり推進会議等により実施された主な取組(まちづくり事業)

- マナーアップ啓発事業
- 村岡あいさつ運動事業
- 地域防災力強化事業
- 村岡美化活動事業
- 史跡案内板設置事業
- 高齢者等見守り事業
- 犯罪のない安全安心まちづくり対策事業
- 歩道等通行環境整備事業
- 公園環境整備防犯対策事業
- 健康づくり推進事業
- 自治会加入促進事業

(3) 地域からの主な声

- ・多世代が交流し、災害時など、いざというときに「互助」が機能する地域をめざす必要がある。
- ・社会資源の空白地点を把握し、地域交流・多世代交流ができる拠点を作っていくための取組が必要である。
- ・小中学校の授業で高齢者や介護について、知識を身につける取組ができないか。
- ・次世代を担う子どもたちが安心して安全に通学できる環境を確保したい。

(4) 地域からの主な声に対応した取組

- ・公民館との共催により、小学生を対象とした防災講座を開催。
- ・地域の縁側事業の拡充等による、地域の居場所、交流拠点の整備。
- ・協議体を中心に、地域の居場所がない空白地を対象に、多世代交流の場(村岡市民の家を活用した「よりどころ弥勒寺」)を定期的で開催し、そのニーズ等を調査。
- ・通学路の安全性を検証するため、小学校の通学路点検を実施。

(5) 在宅生活を支える主な資源

相談支援窓口	地域包括支援センター	1 か所	
	コミュニティ・ソーシャルワーカー（CSW）配置	有	
各サービス提供	医療	在宅療養支援病院・診療所	0 か所
		在宅訪問対応可能な歯科診療所	3 か所
		在宅医療支援薬局	2 か所
		訪問看護ステーション	1 か所
	介護	居宅介護支援事業所（ケアマネジャー）	6 か所
		（訪問型）訪問介護	2 か所
		（通所型）通所介護	9 か所
		（地域密着型）小規模多機能型居宅介護	2 か所
	障がい福祉	（訪問系）居宅介護	3 か所
		（日中活動系）生活介護	3 か所
		（就労支援）就労移行支援	0 か所
		（児童通所系）児童通所支援	1 か所
		（児童通所系）放課後等デイサービス	3 か所
	居場所・交流拠点等	地域の縁側	3 か所
高齢者の通いの場（住民主体型・委託型）		1 か所	
地区ボランティアセンター		1 か所	
地域子ども家・児童館		2 か所	
つどいの広場・藤沢版つどいの広場		1 か所	

5 藤沢地区

(1) 藤沢地区の状況

中東部に位置し、面積は4.75km²で比較的東西に長い地形となっています。旧東海道を中心に古くから道路や鉄道の整備が進み、アクセスや利便性の高さから、文化・教育・歴史・医療等が調和した地区となっています。また、旧藤沢宿を舞台に歴史的背景を生かしたお祭りが開催され、市内外から多くの方が訪れています。

<基本データ>

人口	46,700人	(2位)
0～14歳(年少人口)	6,003人	(3位)
65歳以上	10,911人	(3位)
高齢化率	23.4%	(7位)
一人暮らし高齢者	1,710人	(2位)
自治会加入率	82.0%	(4位)

(2) 郷土づくり推進会議等により実施された主な取組(まちづくり事業)

- 藤沢宿活性化事業
- 交通安全対策事業
- 子どもの見守り活動事業

(3) 地域からの主な声

- ・地域で活動している資源(地域の縁側、高齢者の通いの場など)が、地域住民に知られていないため、情報共有・情報発信の必要性がある。
- ・災害時における備えや避難に関する情報の周知を進める必要がある。
- ・福祉に関する講演会について、思うように参加者が集まらない。また、高齢者・障がいのある人のほか、子どもや子育て世代に向けた事業の積極的な実施についても検討する必要がある。(地区社会福祉協議会)
- ・自治会への未加入世帯や、退会する世帯の増加が課題。(自治会・町内会)
- ・地区ボランティアセンターや地域団体の構成員の高齢化が課題。活動に参加するきっかけづくりとなるような講座等を開催することはできないか。

(4) 地域からの主な声に対応した取組

- ・地域の縁側や高齢者の通いの場をはじめとした活動団体間の交流会を実施。
- ・地域住民に対して、交流や活動の拠点となる場所を周知するために、社会資源を紹介するマップやリーフレットの作成を検討。
- ・地域住民の方を対象とした福祉避難所(Fプレイス)の見学会を実施(藤沢東部地区自治会・町内会連合会主催)
- ・ボランティアに参加するきっかけとしての「認知症サポーター養成講座」を、郷土づくり推進会議の場で開催。
- ・子どもたちが安全、安心に過ごせる環境づくりを目的に、地区内の関係団体間で情報交換を行い、連携の強化を図った。また、辻堂・明治地区で実施された「ウルトラ見守りチャレンジ」を視察。(郷土づくり推進会議の活動部会の取組)

(5) 在宅生活を支える主な資源

相談支援窓口		地域包括支援センター	2 箇所	
		コミュニティ・ソーシャルワーカー（CSW）配置	無	
		（その他）市役所本庁舎・分庁舎 障がい者相談支援事業所（1 箇所）		
各サービス提供	医療	在宅療養支援病院・診療所	9 箇所	
		在宅訪問対応可能な歯科診療所	10 箇所	
		在宅医療支援薬局	7 箇所	
		訪問看護ステーション	5 箇所	
	介護	居宅介護支援事業所（ケアマネジャー）	18 箇所	
		（訪問型）訪問介護	15 箇所	
		（通所型）通所介護	4 箇所	
		（地域密着型）小規模多機能型居宅介護	0 箇所	
	障がい福祉	（訪問系）居宅介護	10 箇所	
		（日中活動系）生活介護	0 箇所	
		（就労支援）就労移行支援	3 箇所	
		（児童通所系）児童通所支援	5 箇所	
		（児童通所系）放課後等デイサービス	8 箇所	
	居場所・交流拠点等		地域の縁側	6 箇所
			高齢者の通いの場（住民主体型・委託型）	3 箇所
			地区ボランティアセンター	1 箇所
		地域子ども家・児童館	3 箇所	
		つどいの広場・藤沢版つどいの広場	2 箇所	

6 明治地区

(1) 明治地区の状況

J R 辻堂駅の北側に位置し、市内で最も小さく、面積は3.04km²となっています。近年、辻堂駅周辺には大型店の進出が相次ぎ、湘南C-Xによる新たなまちが形成され、N T T社宅跡地の大型マンション等の建設にともない、人口は増加傾向にあります。

各地で祭礼、盆踊りなどの伝統行事、各種サークル、ボランティア活動など、地域住民による活動が活発な地域です。

<基本データ>

人口	30,455人	(10位)
0～14歳(年少人口)	4,638人	(7位)
65歳以上	6,609人	(8位)
高齢化率	21.7%	(11位)
一人暮らし高齢者	821人	(7位)
自治会加入率	66.4%	(9位)

(2) 郷土づくり推進会議等により実施された主な取組(まちづくり事業)

歴史・文化継承事業

明治地区マナーアップ推進事業

子育て支援充実事業

明治地区健康体操推進事業

避難行動要支援者支援体制推進事業

小・中学生地域活動参加促進事業

大学生と小・中学生の交流促進事業

道路バリアフリー化促進事業

子どもの安全を守る「不審者情報共有化」事業

(3) 地域からの主な声

- ・ 地区内の社会資源の実態がよくわからない。
- ・ 地域資源や地域活動の見える化ができていない。
- ・ 子どもを地域で安心して見守る体制が必要である。

(4) 地域からの主な声に対応した取組

- ・ 協議体で、地区内で活動する団体に出向き、社会資源の見学を実施。
- ・ 情報共有のツールとして、各学校や地域団体の協力のもと、地区内の子どもを対象とした事業をまとめた一覧表を作成。(郷土づくり推進会議子ども子育て部会)
- ・ スマートフォンアプリと見守りタグ(ブルートゥース型電波発信機)を用い、認知症行方不明者を発見する市民参加型の社会実験「ウルトラ見守りチャレンジ」を実施。
- ・ 明治見守りチャレンジ実行委員会が中心となり、明治・羽鳥・八松小学校区の子どもの対象とした「こどもウルトラ見守りチャレンジ」を実施。

(5) 在宅生活を支える主な資源

相談支援窓口		地域包括支援センター	1 か所	
		コミュニティ・ソーシャルワーカー（CSW）配置	有	
		（その他）障がい者相談支援事業所（3 か所）		
各サービス提供	医療	在宅療養支援病院・診療所	3 か所	
		在宅訪問対応可能な歯科診療所	3 か所	
		在宅医療支援薬局	4 か所	
		訪問看護ステーション	2 か所	
	介護	居宅介護支援事業所（ケアマネジャー）	10 か所	
		（訪問型）訪問介護	8 か所	
		（通所型）通所介護	2 か所	
		（地域密着型）小規模多機能型居宅介護	2 か所	
	障がい福祉	（訪問系）居宅介護	3 か所	
		（日中活動系）生活介護	0 か所	
		（就労支援）就労移行支援	1 か所	
		（児童通所系）児童通所支援	0 か所	
		（児童通所系）放課後等デイサービス	3 か所	
	居場所・交流拠点等		地域の縁側	3 か所
			高齢者の通いの場（住民主体型・委託型）	0 か所
		地区ボランティアセンター	1 か所	
		地域子どもの家・児童館	1 か所	
		つどいの広場・藤沢版つどいの広場	1 か所	

7 善行地区

(1) 善行地区の状況

中央部に位置し、面積は6.09 km²で全市の8.8%を占めています。豊かな自然と緑の景観に囲まれた「坂道」に象徴されるまちであり、東南部には文教地区、中北部に広がる住居地区、西南部には工業地区が配置され、様々なまちの要素がうまく調和したまちづくりがなされています。

<基本データ>

人口	42,281人	(4位)
0～14歳(年少人口)	5,334人	(4位)
65歳以上	11,378人	(2位)
高齢化率	26.9%	(4位)
一人暮らし高齢者	1,488人	(3位)
自治会加入率	56.9%	(13位)

(2) 郷土づくり推進会議等により実施された主な取組(まちづくり事業)

広報・地域活動ネットワーク構築事業
交通不便地域の解消・高齢者等移動支援事業
地域共生社会の構築事業
地域活性化に向けた取組の支援・推進事業

(3) 地域からの主な声

- ・団地などで暮らす、単身の高齢者世帯が増えている。
- ・高齢者などが孤立せず、地域で気軽にコミュニケーションが取れるような居場所をつくる必要がある。
- ・交通不便地域の解消に向けた取組が必要である。

(4) 地域からの主な声に対応した取組

- ・自治会・町内会を中心とする小圏域を単位として、地域の強みや課題を引き出すための「コミュニティ・カフェ」を開催。また、地域住民とともに地域のことを話し合いながら、課題を集約。
- ・コミュニティ・カフェの結果を受け、郷土づくり推進会議と連携し、地域で交流ができる居場所づくりを推進。その結果、「善行団地 団地の井戸端会議」など、住民主体の居場所づくりが進んでいる。
- ・地域の居場所を定着させるため、イベント企画や講師派遣等をサポート。
- ・地域の居場所を運営する団体が持続的な活動ができるよう、団体基盤である規約の整備等に協力。
- ・「善行団地みまもり会議」に慶應義塾大学看護医療学部の学生が参画し、フィールドワークの一環として、善行団地における社会資源を集約したチラシを作成。UR都市機構協力のもと印刷し、全戸配布を実施。
- ・善行西部地区のバス交通に関するアンケートを実施し、その結果に基づき交通不便解消と高齢者等の移動支援に関する提言書を市に提出。

(5) 在宅生活を支える主な資源

相談支援窓口		地域包括支援センター	2 か所
		コミュニティ・ソーシャルワーカー（CSW）配置	有
各サービス提供	医療	在宅療養支援病院・診療所	3 か所
		在宅訪問対応可能な歯科診療所	4 か所
		在宅医療支援薬局	2 か所
		訪問看護ステーション	2 か所
	介護	居宅介護支援事業所（ケアマネジャー）	8 か所
		（訪問型）訪問介護	9 か所
		（通所型）通所介護	4 か所
		（地域密着型）小規模多機能型居宅介護	2 か所
	障がい福祉	（訪問系）居宅介護	11 か所
		（日中活動系）生活介護	3 か所
		（就労支援）就労移行支援	2 か所
		（児童通所系）児童通所支援	3 か所
		（児童通所系）放課後等デイサービス	7 か所
	居場所・交流拠点等		地域の縁側
		高齢者の通いの場（住民主体型・委託型）	3 か所
		地区ボランティアセンター	1 か所
		地域子どもの家・児童館	2 か所
		つどいの広場・藤沢版つどいの広場	1 か所

8 湘南大庭地区

(1) 湘南大庭地区の状況

北西部として辻堂駅から北に2.00kmに位置し、面積は5.01km²となっています。この地区では、昭和40年代から土地区画整理事業により総合的なまちづくりが行われ、自然を感じることができる計画的な整備により、様々な都市機能を併せ持つ良好な住環境が魅力となっています。

<基本データ>

人口	32,112人	(7位)
0~14歳(年少人口)	4,080人	(9位)
65歳以上	10,321人	(4位)
高齢化率	32.1%	(1位)
一人暮らし高齢者	682人	(10位)
自治会加入率	76.8%	(5位)

(2) 郷土づくり推進会議等により実施された主な取組(まちづくり事業)

健康なんでも相談事業

地域のゴミゼロ運動推進事業

健康体操普及推進事業

まちづくり課題解決事業

- ・住民互助による見守り事業(IT活用含む)
- ・隣接地区内、大学との連携による学生提案型地域活性化事業

(3) 地域からの主な声

- ・地域資源や地域活動の見える化ができていない。
- ・高齢者の支援とともに、子どもの支援に力を入れたい。
- ・毎晩夕飯が遅い子ども、いつも孤食の大人、毎日の夕飯づくりにストレスを感じている親などを対象に、地域の様々な世代の方々が食事を通してつながる場が欲しい。
- ・行政と大学と地域が連携して、学生の意見をまちの活性化に取り入れて欲しい。
- ・市内で高齢化率第1位であることを、地区内の共通理解としたい。

(4) 地域からの主な声に対応した取組

- ・地区内の地域活動の紹介と見える化を目的とした冊子を作成。
- ・協議体で小学校長や児童クラブの関係者等を招き、子どもを取り巻く環境について、情報収集や意見交換を実施。
- ・地区社会福祉協議会の新規事業として、食事提供を通じ、地域とのつながりづくりを目的とした「たきパラ食堂」を、毎月第1金曜日の17時から19時までで実施。
- ・「湘南大庭ふるさとまつり」では、慶應義塾大学のブースを設置し、「ポータルサイト愛称ぎめコンテスト」や「健幸かるたとり大会」をはじめ、「湘南大庭のコミュニティ活性化策」のパネル展示など、地域活性化を目指す取組を実施。
- ・慶應義塾大学のイベント会場に湘南大庭地区のボランティア2名が招待を受け、来場者に地域の紹介や課題などの説明を行った。
- ・地域での暮らしやすさを考える取組として、地域の方々が中学校に出向き、高齢支援に関する特別授業を実施。

(5) 在宅生活を支える主な資源

相談支援窓口		地域包括支援センター	2 箇所
		コミュニティ・ソーシャルワーカー（CSW）配置	有
		（その他）北保健センター 障がい者相談支援事業所（1 箇所）	
各サービス提供	医療	在宅療養支援病院・診療所	2 箇所
		在宅訪問対応可能な歯科診療所	3 箇所
		在宅医療支援薬局	0 箇所
		訪問看護ステーション	4 箇所
	介護	居宅介護支援事業所（ケアマネジャー）	9 箇所
		（訪問型）訪問介護	6 箇所
		（通所型）通所介護	7 箇所
		（地域密着型）小規模多機能型居宅介護	2 箇所
	障がい福祉	（訪問系）居宅介護	5 箇所
		（日中活動系）生活介護	2 箇所
		（就労支援）就労移行支援	1 箇所
		（児童通所系）児童通所支援	1 箇所
		（児童通所系）放課後等デイサービス	1 箇所
	居場所・交流拠点等	地域の縁側	4 箇所
		高齢者の通いの場（住民主体型・委託型）	1 箇所
地区ボランティアセンター		1 箇所	
地域子どもの家・児童館		1 箇所	
つどいの広場・藤沢版つどいの広場		1 箇所	

9 六会地区

(1) 六会地区の状況

自然環境に恵まれた緑豊かな宅地と農地共存の地域であり、面積は7.19km²、市内で2番目に広い地区となっています。なお、学園都市としての地域の顔を持っており、学校・家庭・地域が連携した地域社会全体で、子どもたちの健やかな成長を支援する環境が整った地域となっています。

<基本データ>

人口	35,304人	(5位)
0～14歳(年少人口)	4,954人	(6位)
65歳以上	7,765人	(7位)
高齢化率	22.0%	(10位)
一人暮らし高齢者	1,009人	(6位)
自治会加入率	63.8%	(11位)

(2) 郷土づくり推進会議等により実施された主な取組(まちづくり事業)

花の植栽活動による美しいまちづくり事業
交通不便地区解消検討事業
六会人材センター推進事業
六会まちおこし活動支援事業
公園提案事業
引地川自然環境向上事業
バリアフリー化支援活動事業
踏み切り安全対策事業
文庫&居場所づくり事業

(3) 地域からの主な声

- ・地区が東西に広く、小田急線を境にアクセスが限られているため、地区内に居場所が整備されているといっても、東西では感覚が全く異なり、行きづらい場所が多い。
- ・石川エリアは子ども関係の相談割合が比較的高いなど、同じ地区でも住民の抱えている困りごとの傾向が地域によって異なる。

(4) 地域からの主な声に対応した取組

- ・地域の集いの場など、まずは周知することが重要であるという考え方から、居場所の見える化や公園体操の情報などをまとめた冊子を作成し、配布。
- ・関係機関の連携を深めるため、市民センター内の各機関(いきいきサポートセンター、子育て支援センター、地区ボランティアセンター、市民活動推進プラザ、CSWなど)が、定期的に情報交換の場を設置。

(5) 在宅生活を支える主な資源

相談支援窓口		地域包括支援センター	1 か所	
		コミュニティ・ソーシャルワーカー（CSW）配置	有	
		（その他）障がい者相談支援事業所（1 か所）		
各サービス提供	医療	在宅療養支援病院・診療所	3 か所	
		在宅訪問対応可能な歯科診療所	3 か所	
		在宅医療支援薬局	2 か所	
		訪問看護ステーション	4 か所	
	介護	居宅介護支援事業所（ケアマネジャー）	9 か所	
		（訪問型）訪問介護	5 か所	
		（通所型）通所介護	8 か所	
		（地域密着型）小規模多機能型居宅介護	2 か所	
	障がい福祉	（訪問系）居宅介護	6 か所	
		（日中活動系）生活介護	8 か所	
		（就労支援）就労移行支援	3 か所	
		（児童通所系）児童通所支援	4 か所	
		（児童通所系）放課後等デイサービス	7 か所	
	居場所・交流拠点等		地域の縁側	2 か所
			高齢者の通いの場（住民主体型・委託型）	2 か所
		地区ボランティアセンター	1 か所	
		地域子どもの家・児童館	2 か所	
		つどいの広場・藤沢版つどいの広場	0 か所	

10 湘南台地区

(1) 湘南台地区の状況

北部に位置し、境川と引地川に挟まれ、面積は4.27km²の平坦な地形となっています。湘南台文化センター、総合市民図書館などの文化教育施設や、藤沢北警察署、藤沢北郵便局などの公的施設が集中しています。湘南台駅の地下イベント広場では、地域活動やサークル活動などが活発に行われており、藤沢市民まつり湘南台ファンタジアには、多くの方が訪れる地区となっています。

<基本データ>

人口	31,336人	(8位)
0～14歳(年少人口)	3,782人	(10位)
65歳以上	5,978人	(10位)
高齢化率	19.1%	(13位)
一人暮らし高齢者	769人	(8位)
自治会加入率	65.2%	(10位)

(2) 郷土づくり推進会議等により実施された主な取組(まちづくり事業)

ようこそ先輩in湘南台事業

緑の回遊路事業

子育てネットワーク事業

地域サポーター育成事業

- ・地域サポーター養成講座「ゆめまる地域塾」の開催
- 文化創造事業

(3) 地域からの主な声

- ・地区で健康づくりに力を入れている公園体操などに、もっと近所の人に参加してもらいたい。
- ・集いの場にちょっとした困りごとを抱えた方が来たとき、適切に相談につなげることができるとうい。
- ・地区ボランティアセンターなどの支援員の募集などに向け、チラシ配布や掲示などでPRしているが、人が集まらず、担い手不足となっている。
- ・高齢化が進んでおり、世代交代が大きな課題。

(4) 地域からの主な声に対応した取組

- ・居場所や公園体操の情報をまとめたリーフレットを作成し、配布。
- ・湘南台地区で公園体操を実施している団体が一堂に会する公園体操大会を毎年開催し、新しい参加者を取り入れながら、既存の活動のさらなる活性化を図っている。

(5) 在宅生活を支える主な資源

相談支援窓口		地域包括支援センター	1 箇所
		コミュニティ・ソーシャルワーカー（CSW）配置	無
		（その他）北部福祉総合相談室 障がい者相談支援事業所（1 箇所）	
各サービス提供	医療	在宅療養支援病院・診療所	6 箇所
		在宅訪問対応可能な歯科診療所	7 箇所
		在宅医療支援薬局	4 箇所
		訪問看護ステーション	3 箇所
	介護	居宅介護支援事業所（ケアマネジャー）	10 箇所
		（訪問型）訪問介護	9 箇所
		（通所型）通所介護	7 箇所
		（地域密着型）小規模多機能型居宅介護	1 箇所
	障がい福祉	（訪問系）居宅介護	5 箇所
		（日中活動系）生活介護	0 箇所
		（就労支援）就労移行支援	0 箇所
		（児童通所系）児童通所支援	3 箇所
		（児童通所系）放課後等デイサービス	2 箇所
	居場所・交流拠点等	地域の縁側	1 箇所
		高齢者の通いの場（住民主体型・委託型）	2 箇所
地区ボランティアセンター		1 箇所	
地域子どもの家・児童館		1 箇所	
つどいの広場・藤沢版つどいの広場		0 箇所	

1 1 遠藤地区

(1) 遠藤地区の状況

西北部に位置し、面積は4.98km²で農業を中心に形成されてきた地区となっています。小出川を中心に、市民団体が管理するあじさいや彼岸花など、四季折々の自然に合わせたイベントが開催されています。また、地区東部の秋葉台公園や文化体育館があり、運動施設・複合プールなど多くの方が利用し、藤沢市北部方面のスポーツ拠点となっています。

<基本データ>

人口	11,876人	(13位)
0～14歳(年少人口)	1,541人	(13位)
65歳以上	2,731人	(13位)
高齢化率	23.0%	(8位)
一人暮らし高齢者	567人	(11位)
自治会加入率	63.4%	(12位)

(2) 郷土づくり推進会議等により実施された主な取組(まちづくり事業)

高齢者見守りネットワーク体制推進事業
自然環境推進事業
遠藤魅力アップ推進事業
地域活動の広報充実事業
避難行動要支援者支援体制整備事業
道路環境整備事業
魅力と活力あふれるまちづくり推進事業
伝統文化継承事業

(3) 地域からの主な声

- ・身近なところに気軽に集える場や、居場所が少ない。
- ・移動するためには、自家用車でなければ気軽に行けない。
- ・新しいことを始めるのではなく、既存の地域資源と連携・協働しながら、地域課題を検討したい。
- ・農業従事者が多いため、高齢になっても仕事を続けており、地域活動への誘導が難しい。

(4) 地域からの主な声に対応した取組

- ・郷土づくり推進会議で、居場所づくりに関するニーズを受け、地域の縁側を設立。
- ・慶應義塾大学の学生に地域の縁側事業のボランティアとして協力していただき、小中学生の夏休み期間に学習を通じた交流を実施。
- ・地区内にある慶應義塾大学や慶育病院、地域の縁側等との連携を模索。
- ・健康に関する意識を高め、取組に参加してもらおうきっかけづくりを地域の方々と一緒に検討。
- ・地区内の地域活動を紹介するリーフレットの作成を検討。

(5) 在宅生活を支える主な資源

相談支援窓口		地域包括支援センター	1 か所
		コミュニティ・ソーシャルワーカー（CSW）配置	有
各サービス提供	医療	在宅療養支援病院・診療所	0 か所
		在宅訪問対応可能な歯科診療所	1 か所
		在宅医療支援薬局	0 か所
		訪問看護ステーション	1 か所
	介護	居宅介護支援事業所（ケアマネジャー）	3 か所
		（訪問型）訪問介護	3 か所
		（通所型）通所介護	4 か所
		（地域密着型）小規模多機能型居宅介護	1 か所
	障がい福祉	（訪問系）居宅介護	0 か所
		（日中活動系）生活介護	3 か所
		（就労支援）就労移行支援	0 か所
		（児童通所系）児童通所支援	0 か所
		（児童通所系）放課後等デイサービス	1 か所
	居場所・交流拠点等	地域の縁側	1 か所
高齢者の通いの場（住民主体型・委託型）		0 か所	
地区ボランティアセンター		1 か所	
地域子どもの家・児童館		1 か所	
つどいの広場・藤沢版つどいの広場		1 か所	

12 長後地区

(1) 長後地区の状況

北東部に位置し、面積は5.41km²で全市の7.8%を占めています。東に境川、西に引地川が流れ、古くから大山街道と滝山街道が交差する交通の要所として商店が立ち並び、豊かな歴史に支えられた地区となっています。また、里山など自然環境を満喫できる箇所が点在する地域となっています。

<基本データ>

人口	33,650人	(6位)
0～14歳(年少人口)	4,151人	(8位)
65歳以上	8,976人	(6位)
高齢化率	26.7%	(5位)
一人暮らし高齢者	1,013人	(5位)
自治会加入率	70.8%	(7位)

(2) 郷土づくり推進会議等により実施された主な取組(まちづくり事業)

健康づくり普及事業
長後すくすく応援事業
地産地消推進事業
地域人材発掘・育成事業
ちよご見守りネットワーク事業
観光・歴史資源開拓事業
交通手段支援事業
花いっぱい運動推進事業
長後子ども安全ネットワーク事業
安全・安心ステーション運営事業

(3) 地域からの主な声

- ・ 交通の便が悪い地域があり、また、道路が狭くて危険な場所がある。
- ・ 自治会の加入率の減少をはじめ、地域のつながりが薄くなってきている。
- ・ 地域活動の中心となる人がいないと、新しい取組は難しい。
- ・ 健康づくりや子育てに関する情報交換の場、専門機関による相談の機会が欲しい。
- ・ 居場所にまで出てこられない方の発見と支援が必要。

(4) 地域からの主な声に対応した取組

- ・ 地区内の交通不便地域解消を図るため、自動車学校の送迎車両の活用など、新たな交通手段の実施に向けた調査や検討を行う。
- ・ 自治会の人材育成を目的に、地区自治会連合会が主体となり「自治会長講座」を実施。
- ・ 身近な場所で気軽にボランティアに参加できるよう情報発信を行う。
- ・ 子育て世代の親子の仲間づくりと子育てに役立つ情報提供や意見交換など、地域で子育てを支援していく体制を推進。
- ・ 身近な場所で気軽に参加できる健康づくり事業の普及啓発。
- ・ 地区社会福祉協議会において、民生委員児童委員と連携し、ひとり暮らし高齢者を対象としたお弁当の配達と昼食会を開催。

(5) 在宅生活を支える主な資源

相談支援窓口		地域包括支援センター	1 か所	
		コミュニティ・ソーシャルワーカー (C S W) 配置	有	
各サービス提供	医療	在宅療養支援病院・診療所	3 か所	
		在宅訪問対応可能な歯科診療所	3 か所	
		在宅医療支援薬局	1 か所	
		訪問看護ステーション	2 か所	
	介護	居宅介護支援事業所 (ケアマネジャー)	9 か所	
		(訪問型) 訪問介護	10 か所	
		(通所型) 通所介護	6 か所	
		(地域密着型) 小規模多機能型居宅介護	2 か所	
	障がい福祉	(訪問系) 居宅介護	5 か所	
		(日中活動系) 生活介護	0 か所	
		(就労支援) 就労移行支援	0 か所	
		(児童通所系) 児童通所支援	1 か所	
		(児童通所系) 放課後等デイサービス	2 か所	
	居場所・交流拠点等		地域の縁側	4 か所
			高齢者の通いの場 (住民主体型・委託型)	1 か所
		地区ボランティアセンター	1 か所	
		地域子どもの家・児童館	1 か所	
		つどいの広場・藤沢版つどいの広場	1 か所	

13 御所見地区

(1) 御所見地区の状況

市内で最も広く、面積は11.74km²、農業基盤整備を中心にまちづくりが進められてきました。そのため、多くの自然が残っており、郷土づくり推進会議が中心となり、四季を通じて、市民センターや少年の森等への花の植栽を行うなど、彩のある「花の郷」としての魅力が広がる地域となっています。

<基本データ>

人口	18,024人	(12位)
0～14歳(年少人口)	2,175人	(12位)
65歳以上	5,279人	(12位)
高齢化率	29.3%	(2位)
一人暮らし高齢者	532人	(12位)
自治会加入率	68.2%	(8位)

(2) 郷土づくり推進会議等により実施された主な取組(まちづくり事業)

田園パーク構想推進事業

- ・「少年の森」と「健康の森」を結ぶルートの整備や、拠点としての「少年の森」及び周辺整備の検討
- ・地区内の農畜産物を使用した「食」の提供促進と「御所見ブランド」の創出、加工施設の検討
- ・地域団体、ボランティアと連携し地区内の花の植栽を進めるとともに、高齢者の活躍の場を創出

情報発信推進事業

- ・ホームページによるリアルタイムな情報発信と、広報誌等による地域情報の提供

(3) 地域からの主な声

- ・自治会・町内会の未加入世帯、退会する世帯が増加している。
- ・自治会・町内会や地域役員の担い手不足。
- ・交通の便が悪く、近隣のスーパーもなくなり、買い物に困っている方がいる。
- ・地区が広いため、居場所があっても遠い、行きづらい場所も多い。
- ・地域活動においては、中心となる人がいないと、新しい取組は難しい。

(4) 地域からの主な声に対応した取組

- ・地域が主体となり、自治会への加入促進に向けたパンフレットを作成し、配布。
- ・自治会長や地域役員の役割を見直し、負担の軽減を図る。
- ・まちづくり協議会、JA、協議体等が協力し、買い物支援につながる対策を検討。
- ・交通空白地における買い物支援など、地域生活課題に対する社会福祉法人等との協議、検討。
- ・既存の居場所事業の見える化と活性化に向けた取組。
- ・認知症に関する講座など、支えあいを自分ごととして捉える取組の実施。
- ・防犯協会及び安全・安心ステーションが中心となり、地域全体で連携した形での見守り活動の実施。
- ・災害時における行政及び防災協を中心とした連携体制を構築。

(5) 在宅生活を支える主な資源

相談支援窓口	地域包括支援センター	1 か所	
	コミュニティ・ソーシャルワーカー (C S W) 配置	有	
各サービス提供	医療	在宅療養支援病院・診療所	3 か所
		在宅訪問対応可能な歯科診療所	2 か所
		在宅医療支援薬局	0 か所
		訪問看護ステーション	1 か所
	介護	居宅介護支援事業所 (ケアマネジャー)	3 か所
		(訪問型) 訪問介護	5 か所
		(通所型) 通所介護	0 か所
		(地域密着型) 小規模多機能型居宅介護	1 か所
	障がい福祉	(訪問系) 居宅介護	2 か所
		(日中活動系) 生活介護	3 か所
		(就労支援) 就労移行支援	1 か所
		(児童通所系) 児童通所支援	0 か所
		(児童通所系) 放課後等デイサービス	0 か所
	居場所・交流拠点等	地域の縁側	2 か所
高齢者の通いの場 (住民主体型・委託型)		1 か所	
地区ボランティアセンター		0 か所	
地域子どもの家・児童館		1 か所	
つどいの広場・藤沢版つどいの広場		1 か所	

(事務担当 福祉健康部 地域包括ケアシステム推進室)